



わかばしんぶん

2026年

2月1日発行

第6号

若葉保育園

発表会に向けて～一年の育ちを感じる時間～

2月14日は保護者の方をご招待して発表会を行います。発表会は、子どもたちが一年を通して遊びや生活の中で積み重ねてきた経験を、保護者の皆さまに見ていただく機会です。

遊戯、歌、合奏、劇ごっこなど、各学年の発達や興味に合った内容を大切にしながら、無理のない形で取り組みを進めています。1月からは本格的に練習を始め、保育園の中で「見せ合いっこ」をしながら、少しずつ自信につなげています。友だちの姿を見て刺激を受けたり、「やってみたい」「できたよ」と感じたりする姿が増えました。

また、クラスによっては小道具や飾りを子どもたちと一緒に作り、表現する楽しさを味わっています。当日は、うまくいくことだけでなく、そこに至るまでの過程や一人ひとりの育ちも感じていただけましたら幸いです。



5歳児合奏



劇の小道具作り

中学生の職場体験がありました

今年度、若葉保育園では中学生の職場体験を受け入れました。福生第一中学校・第二中学校・第三中学校の生徒さんが来園し、子ども達と一緒に遊んだり、活動の準備や片付け、絵本の読み聞かせなど、保育のお手伝いをしてくれました。

子ども達は「お兄さん（お姉さん）きた！」と目を輝かせ、手をつないで案内したり、遊びに誘ったりする姿が多く見られました。普段とは少し違う雰囲気、いつも以上に張り切って過ごす姿も印象的でした。

今回の職場体験では、保育園の仕事を知ってもらうことに加え、子どもや保育者との関わりを通して、人と関わる楽しさや難しさ、相手を思いやる気持ちを学んでもらうことをねらいとしています。生徒さん達は、子ども目線で関わろうと工夫したり、優しく声をかけたりしながら、一生懸命取り組んでくれました。

ご協力いただいた福生第一中学校・第二中学校・第三中学校の皆さま、生徒の皆さま、ありがとうございました。子ども達にとっても、中学生のお兄さん・お姉さんとの出会いは心に残る楽しい時間となりました。

地域子育て支援事業活動

わかぼっこ(保育所体験)

在園児と一緒に体操や絵本の読み聞かせなどの保育所体験ができます。

2月9日 親子でふれあい遊び

2月16日 親子でふれあい遊び

パパママ教室

出産を迎える保護者や祖父母、また、生後4か月までの乳児を子育て中の保護者に向けて保育士や看護師、栄養士などが子育ての疑問や質問にお応えします。

(随時受け付けていますのでお電話で予約をしてください)

～葉っぱをテーマに、野菜とともに育った子どもたち～

秋に、大根・人参・ほうれん草・かぶの種を植え、みんなで野菜の生長を見守ってきました。芽が出て、葉が増え、日に日に大きくなっていく様子に、子どもたちも自然と興味を持つようになりました。12月中旬には、いよいよ収穫を迎えました。20cmほどに育った大根や、立派なほうれん草がたくさん収穫でき、土に触れながら喜びを感じる子どもたちの表情がとても印象的でした。「重いね!」「ここにもあった!」と声を弾ませ、手のひらで土の感触を確かめながら、一つひとつ大切に抜いていました。一方で、人参作りはうまくいかず、葉を抜くと根だけが残る結果になってしまいました。「あれ?人参がないね…」と驚く子もいれば、残った根をじっと見つめる子もいました。後から「葉を間引く必要があったね」と気づき、野菜作りの難しさや奥深さを実感する経験となりました。うまくいったことも、思い通りにならなかったことも、どちらも自然と関わる大切な学びになっています。

そして1月に入り、残っていた野菜を収穫しました。すると、大根がさらに大きく育っていて、子どもたちも保育者もびっくり。「こんなに大きくなったの?!」と目を丸くしながら、収穫を楽しみました。中には虫に食べられている野菜もあり、その様子にも興味を持ってじっくり観察する姿が見られました。「ここ、穴があいてる」「虫さんが食べたのかな」と、自然の営みを自分なりの言葉で感じ取っている様子が伝わってきました。

霜の中で育っていた野菜もあり、土はいつもと違って“ざくざく”とした手触りでした。土を触り、「いつもの土と違うね」と感触の変化を面白がったり、霜のついた葉をよく見たりと、冬ならではの発見もたくさんありました。これからも、葉っぱや土、季節の変化に触れながら、子どもたちの「見てみたい」「やってみたい」という気持ちを大切にしていきたいと思います。

